
電車で人間観察（しかし青年に限る）

源雪風

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

電車で人間観察（しかし青年に限る）

【Nコード】

N5585K

【作者名】

源雪風

【あらすじ】

電車の中で見かけた青年を観察した。

体調が悪かったので、いつもより遅い電車に乗った。
人が多い。

そのうえ退屈だ。

立っている元気もない。

そんな時、斜め前に座っている青年が気になった。

黒ぶち眼鏡で、とても素朴な顔立ちの青年だ。

仏像が眼鏡をかけたみたいな感じだ。

眠っている。

私の右には、PSPでゲームしている整った容姿のお兄さんがいるが、素朴な青年の観察をすることにした。

電車がぐらりと揺れた。

素朴君は目を覚まして、しばらく辺りをうかがったあと、また眠った。

もうそろそろ目的の駅に着く。

素朴君は、出口の近くへ移動したサラリーマンが邪魔で見えなくなつた。

翌日。

電車の中で、ギリシャ彫刻が眼鏡をかけたみたいな青年を見つけた。
銀縁眼鏡と色白の肌が、マッチしている。

ギリシャ君は携帯をいじっている。

手だけすごい速さでボタンを押している。

ギリシャ君はふいにくしゃみをした。

ぺくちん！

可愛いくしゃみだ。

眠そうにこすった目は、長めのまつ毛と二重瞼だ。

携帯をやめたかと思ったら、PSPでゲームを始めた。

画面がちよっと見えた。

どうやらスパイクアクションのようだ。

あれまあ、もう駅に着いた。

青年を横目で見ながら、電車を降りた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5585k/>

電車で人間観察（しかし青年に限る）

2010年10月28日07時57分発行